

特定健康診査を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「口腔状態・歯科医療費および精神疾患医療費との関連」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域予防歯科学分野 教授 江國大輔

1) 研究の背景および目的

精神疾患の患者数は約419.3万人で、外来患者数は増加しています。アルツハイマー病が15年前と比べ約7.3倍、気分[感情]障害（躁うつを含む）が約1.8倍、神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害が約1.7倍と特に増加しています。精神障害を持つ人々は、多くの病気を合併するリスクが増加し、適切な医療へのアクセスが減少しています。また、個人的、社会的、経済的負担を増大させ、平均余命を激減させることが報告されています。

口腔と精神疾患は相互に関連していることが報告されています。精神疾患をもつ患者は口腔状態が悪化しやすいことについては数多く報告されています。また、口腔状態が悪い人は精神疾患になる可能性についてもわずかではありますが報告されています。しかし、詳しく調査されておらず、不明なことが多いです。そこで、厚生労働省が管理している匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用いて、横断的・縦断的に口腔情報と精神疾患との関連について検討することとしました。

2) 研究対象者

2009年4月1日～2024年3月31日の間に日本で医療機関を受診された方20万名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2029年3月31日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可後、厚生労働省の許可後

4) 研究方法

日本で医療機関を受診された方で、精神疾患および歯科医療情報をもとに口腔と精神疾患医療費に関する分析を行います。

5) 使用する情報

この研究では以下の情報を使用させていただきます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢階層区分
- 性別
- 診療年月
- 傷病名
- 歯科医療費
- 医科医療費（総医療費および精神疾患医療費）

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学学術研究院医歯薬学域予防歯科学分野内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

本研究の実施に際しては運営費交付金を用います。また、利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告しています。私たちはこの研究によって特許を得る可能性があります。ただし、その権利は岡山大学に帰属します。研究対象者の方には帰属しません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

研究内容の問い合わせ

岡山大学学術研究院医歯薬学域予防歯科学分野

氏名：江國大輔

電話：086-235-6712（平日 9 時～16 時）

<研究組織>

研究機関名 岡山大学学術研究院医歯薬学域

研究責任者 予防歯科学分野 教授 江國 大輔

既存情報の提供のみを行う機関

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuhoken/reseputo/index.html